

松くい虫被害への対策は

被害は拡大の感がある。300万円の予算で被害防止に努めるのか。

一昨年から市内全域を被害地域に拡大した。国県補助や市の単独で事業量と予算額を増やしながら対応している。

被害木の調査から処分に至るまで長期間要している理由は。

駆除は春と秋の2回に分けて実施している。優先順位の高いところから取り組んでおり、今後も積極的に処分に取り組む。

拡大の速度を抑えているとは思いますが、今の防除方法しかないのか。

今の伐採と薫蒸処理を進めている。他に山林の樹種転換があり、宮守町内でモデルとして進めようとしている。造林費用には9割補助しているの

で、森林所有者の収入につながることを見出すことだが、そのこと

内水面漁業の実態と対策は

内水面漁業奨励事業補助金の内容は。

河川魚放流の補助金として2漁協に行った。

漁協2団体は。

上猿ヶ石川漁協に25万円、猿ヶ石漁協に9万円である。

年次ごとの放流実績からすると、補助金は変わっていない

ので現実には合致したものとすべきと考えるが。

放流内容等、漁協と協議を重ね対応したい。

実態を把握して対応すべきで、悪化している現状を打開する対策が必要と考える。

組合員の動向について把握しているのか。

現状では未調査であるが、今後に向け協議を進めていきたい。

500人以上いた組合員が、200人に減少した現実がある。

したい。

組合費を増額して厳しい対応をしている。

関係部署間で討議を進め、より良い環境づくりを進めるべきと考えるが。

実態をとらえ、確実に対応していきたい。

淡水魚養殖ではかつて20数名いた生産者が、8名となった

現状を捉え、どのように取り組んできたのか。

市内での販路拡大の模索はしている

ものの、課題は多く組合と協議している。

9月10日、遠野で生産されたものを

食材に、遠野まるごと給食が実施された。市民自ら消費することが

大切で、そうしたことが喚起することが極めて重要と考えるが。

より一層、淡水魚の消費拡大に努めたい。

防災センターへのアマチュア無線整備の実態は

防災センターにアマチュア無線設備

は整備されているか。

現在、消防司令室に3台あり、周波数はFM帯、UHF帯、VHF帯の機器を各1台設置している。

アマチュア無線は医療機関や自衛隊等にもクラブがあり広く情報交換が可能である

が、消防署にはクラブコールがあるのか。

ある。有事の際は無線の有効活用ができる体制を整えている。

県内各消防署でもアマチュア無線を活用できるよう働きかけては。

消防事務関係担当者会議等の機会を通じてPRに努めた

い。

遠野型奨学生制度の検討は

大学生等とは、専門学校生も含めた数値と考えるがそれぞれの人数について確認したい。

31名中、大学生20名・短大2名・専門学校8名・高専1名

なつた37年度を目安に、庁舎建設の財源的目標と考えている。

年度内中に庁舎の位置、集約する機能について基本方針を出したい。

である。

この春の緑峰高校卒業式で、アルバイトをしながら専門学校に通うという学生のスピーチを耳にした。本市の出生者数は190

人前後で推移している。保育園から小中学校まで高いレベルで子育て支援の施策が確立

されているものの、最終の子育て支援の重要性を強く感じた。そうした意味でも奨学資金

制度は重要であるが、更に踏み込んで給付型の奨学生制度が遠野市

版で確立されても良いと思うし、正に喫緊の人づくり対策、人材育成確保対策と考えるが。

子育ての最終支援策であり、重要施策である。給付制度としての捉え

方、子育てという観点から総合的に検討しているところであり、実現性を具体的に検討した

い。支給を受け遠



野に帰ることを誘導し、就業する人に優遇策を講ずるべきとの発言であり、市内に住み近隣の市町村に就業する場合での人口流出・人口減を考える場合、戻ってくる可能性を大きく誘導できる施策であり、今後具体的に検討したい。

要介護者の自宅待機の実態と今後の対応は

要介護者の中には自宅待機者がある。施設を増設すれば解決す

ることだが、そのこと

によって介護保険料に跳ね返ることが危惧されるが。

自宅待機者189名と申し上げたが、その中には他市町村の特別養護老人ホームに入っているとか、老人保健施設に入っている方もあり、実際に在宅で待機しているのは76名となっている。

そのうち介護1・2という軽度の方が29名以外の47名は介護度3・4・5となっており、介護度の高い方々をできるだけ早期に入所に結びつけたいと考えている。ただ、受入れ数は限られており、在宅待機者へのサービスを充実させるとか、高齢者専用住宅整備などに転換していくことも必要と考えている。

ケーブルテレビ設備の維持管理体制は万全か

市内ケーブルテレビの種類は光と同軸の2種類あるが、これらの維持管理業者は何

社あるのか。

基本的には株式会社社遠野テレビ1社である。

落雷等における、光と同軸での維持管理の違いは把握しているか。

ケーブルの種類は旧遠野市が同軸、旧宮守村は光で配線されている。

同軸は電気を流して通信するため落雷による影響を受けやすいが、光は電気を通さないため影響はない。特に落雷の停電でSTBが再起動しなくなった事例があるが、現在広く使われているSTBはアメリカ製で部品等の交換対応が出来ないため、国内製への切り替えを進めている最中である。

部品供給や保守サービス体制は万全か。

株式会社社遠野テレビとは毎月合同の連絡会議を行っているほか、職員のスキルアップ研修会等実施し、市民に対して安定したサービスを供給できる

市庁舎建設に対する国の支援と用途は

庁舎の再建は国からの財政支援のみで出来るのか。

国の財源は、特別交付税に新たに震災復興特別交付税が加わったが、現状復旧に

対して6億から最大10億円が措置される。100に対して交付税措置が70%と、有利な起債が震災復興特別交付税に上乗せになると決まっている。現在どの程度の庁舎を建設するか、規模がまだ決ま

っていない。対象にならない建設部分への対応を考慮し、昨年度庁舎整備基金を立ち上げた。

市は、庁舎建設を基金の積み立てと国の支援を合わせ、いつの時期を目途に考えているのか。

震災復興特別交付税の終わりの周期は決まっていない。合併特例事業債が延長と

ハザードマップづくりと自主防災の取り組みをいかに進めるか

市社協では、ハザードマップ作成や安心箱設置について、民生委員、自治会防災組織、消防団員との連携の中で既に取組んでいるが、市が今後作るマップは、後追いでではなく、効率的にいか

活用していくかが重要だと考えている。

ハザードマップづくりで2度手間とならないよう、既にマップが完成されている地区があればそれを活用してデータ化し、電子及び紙によるマップ化を進める。常に新たな情報を入れて、更新しながら、より理想のものとしていきたい。

災害時要援護者の取扱いだ、防災訓練や安否確認の手だてが分からない自治会等あるように見受けられる。

確かにそのとおりで、区長、自治会長、自主防災組織等に今後周知を徹底したい。

※STBとは……セットトップボックス(STB: Set Top Box)の略称。セットトップボックスとは、テレビに接続して様々なサービスを受けられるようにする機器の総称。テレビの上に置いておくことが多いことからこう呼ばれる。

